

## 3月に富山くすりフェアが開催

発行：日本置き薬協会 事務局

「富山のくすり」は江戸元禄時代から三百年余りの歴史と伝統をもち、「先用後利」という独特の商法をもって全国津々浦々に普及し、我が国の保健衛生の向上に大きく貢献してきた。また社会構造の変化に伴い、明治期以降、医薬品産業は近代工業の勃興に大きな役割を果たしながら基幹産業として大きく発展し、現在は埼玉県に次ぐ全国第二位の医薬品生産額の規模にまで進展している。

富山県の製薬企業等が加盟する(一社)富山県薬業連合会は平成29年3月9日(木)～11日(土)に「富山くすりフェア」を開催する。場所は東京駅丸の内南口JPタワー・KITTE地下1階「東京シティーアイ パフォーマンスゾーン」(東京中央郵便局地下)。開催時間は午前10時～午後7時(11日は午後6時)。昨年と同じ東京駅丸の内近隣として同駅の利用者やビジネスマンに「富山、医薬品、置き薬」のイメージ喚起と定着を促す企画である。

「紹介コーナー」で富山のくすりの歴史(柳行李、懸場帳、製薬道具等の展示と映像)や富山の医薬品産業(パネルと映像)の紹介、配置薬の展示、くすりの知識と正しい使い方とセルフメイเคーションの紹介、イメージキャラクター「くすりん」によるPR。

「体験コーナー」では薬膳スイーツやドリンク、健康茶等の試飲、試食コーナー、血圧や血流の測定コーナー、東京シティーアイカフェとのタイアップ企画。

「物販コーナー」では配置薬や富山県物産、薬膳スイーツの販売がされる予定。

富山県の医薬品産業の現状やセルフメイเคーションなどについて分かり易く紹介することにより、大きく変化する社会における医薬品や医薬品産業の役割について一層の理解と認識を深める機会の提供を目的としている。

事業規模は600万円。富山県200万円、関係6市町184.5万、富山薬連215.5万円の分担で、会場設営及び運営費に250万円、PR経費を85万円、会場費65万円としている。

実行委員会は(一社)富山県薬業連合会、(公社)富山県薬剤師会、富山県医薬品卸業協同組合、富山県医薬品小売商業組合、(一社)富山県医薬品登録販売者協会、富山県、富山市、高岡市、射水市、滑川市、上市町、立山町で構成。後援は厚生労働省、富山大学、富山商工会議所、(株)薬日新聞社、(株)家庭薬新聞社。

問い合わせは、富山県薬業連合会(富山市千歳町 TEL076-432-2765)へ。

本件に関するお問合せ先 **日本置き薬協会 事務局**

〒114-0023 東京都北区滝野川3-56-9

TEL. 080-6789-6165 FAX. 048-251-965

日 置 協